

2022年7月21日

千葉県特定最低賃金審議会 殿

日本食品関連産業労働組合総連合会 千葉地区協議会  
議長

### 千葉県調味料製造業 特定最低賃金改正に関する意見書

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げますとともに、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症による経済の抑制、ウクライナ情勢の影響による物価高騰が続き、極めて厳しい状況にあるとされており、多くの働く者・生活者にとって暮らしの底上げ・底支えが実現できていない状況である。

超少子高齢化・人口減少という構造問題は、すでに労働力不足という形で顕在化しており、働くことの価値観を高めるためには、働く者一人ひとりの多様な価値観に対応する働き方の実現と生産性の向上を実現し、すべての働く者がディーセント・ワーク（人間らしい働きがいのある仕事）に就け、その仕事に応じた適正な処遇の確保が求められる。

非正規労働者は2,100万人前後で推移しており、生活保護受給者数は依然として200万人を超えている。「底上げ・底支え」「格差是正」を実現し、社会的不安等を解消するためにも、低廉な賃金でしか働けない労働者の生活を支える最大の柱である最低賃金制度の役割は、働く者が安心して暮らすためのセーフティネットとしてさらに重要度を増している。

千葉県調味料製造業特定最低賃金については、時々の経済・雇用情勢等を勘案しながら引き上げをはかってきたものの、2018年に地域別最低賃金に吸収され今日に至っており、付加価値のある仕事に従事する業種であることが正当に評価されているとは言えない状況にある。また、調味料製造業においても人手不足は深刻な状況にあり、優秀な人材確保が喫緊の課題であることを踏まえると、県外への労働者流出防止のためにも特定最低賃金の是正が必要であると考えます。

千葉県の調味料製造業における事業の公正競争を確保する観点から、今年度の千葉県調味料製造業特定最低賃金に関する改定を下記のとおり要求する。

#### 『記』

#### 1. 千葉県調味料製造業特定最低賃金審議会の運営について

千葉県調味料製造業特定最低賃金審議会においては、千葉県地域別最低賃金の引き上げ額を上回る引き上げ額をめざしつつ、当該産業の実態を十分に踏まえながら自主性を発揮した議論展開となるよう求める。

#### 2. 千葉県調味料製造業特定最低賃金の引き上げについて

当該産業の付加価値向上、ひいては優秀な人材確保を目指し、地域別最低賃金以上の引き上げを前提として、連合リビングウェイズである千葉県1,010円の早期実現を要求する。

以上

